

ここで 暮らしつづけたい

— 災害時の在宅ケアと災害復興 —

能登半島地震被災地の高齢化率は50%超。

高齢化の進む地域で発生した大震災。

地域での暮らしがさらに困難となる状況で、
それでも、「ここで暮らしつづけたい」という思い、
つぶやきを我がこととしてどう叶えるのか。
在宅での暮らし継続のために必要なことはなにか、
20年後の日本を考えてみます。

2024 7/28 日

13:00～17:00 (開場 12:30～)

東京大学 伊藤国際学術研究センター
伊藤謝恩ホール

参加費 3,000円 (資料代1,000円含む)	ハイブリッド開催 会場参加: 300名 オンライン参加: 1,000名
--------------------------------	---

* 事前申込が必要です (裏面参照)



アーリーバード・ボーナス企画

モーニングレクチャー開催!

10:30～12:00 正会員・賛助会員 先着 40名 非会員 先着 30名

ポリファーマシーと嚥下障害

座長 飯島勝矢 JHHCA 業務執行理事
講師 1 秋下雅弘 氏 東京都健康長寿医療センター センター長
講師 2 倉田なおみ氏 昭和大学薬学部社会薬学部門 客員教授

総合司会 追田朋子氏
(元NHKエグゼクティブディレクター)

特別講演 座長 石垣泰則 JHHCA 副理事長

いのちの脅威と社会の安心

自然災害と人為災害に対応する

プライマリヘルスケア (PHC)

喜多悦子氏 公益財団法人 笹川保健財団会長

令和5年度 JHHCA 事業概要と成果報告

シンポジウム

ここで暮らしつづけたい～能登半島地震で起きたことと東日本大震災からの復興～

座長 武田俊彦 JHHCA 副理事長／蘆野吉和 JHHCA 業務執行理事

瀬島照弘氏 (能登町／小木クリニック)
中村悦子氏 (輪島市／緊急時支援サテライト訪問看護ステーション リベルタ能登)
臼井薰子氏 (陸前高田市／(一財)みらい創造財団 朝日のあたる家)
長嶺由衣子氏 (厚生労働省 老健局災害対策室)
山岸暁美氏 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室／コミュニティヘルス研究機構)

主催

JHHCA
Japan Home Health Care Alliance

共 催

全国在宅療養支援医協会／全国在宅療養支援歯科診療所連絡会／全国訪問看護事業協会／
全国ホームホスピス協会／全国薬剤師・在宅療養支援連絡会／日本介護支援専門員協会／
日本ケアマネジメント学会／日本在宅医療連合学会／日本在宅栄養管理学会／日本在宅看護学会／
日本在宅ケア学会／日本在宅療養支援病院連絡協議会／日本プライマリ・ケア連合学会／
日本訪問リハビリテーション協会／日本老年医学会／全国国民健康保険診療施設協議会／
全日本病院協会／日本訪問看護財団／日本ホスピス緩和ケア協会／日本ホスピス・在宅ケア研究会／
日本在宅ホスピス協会／地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク

後援
(予定)

厚生労働省／公益社団法人 日本医師会／公益社団法人 日本歯科医師会／公益社団法人 日本薬剤師会／公益社団法人 日本看護協会／
公益社団法人 日本介護福祉士会／社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団／公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

お申込み方法は
裏面をご覧ください



会場参加

& オンライン

ハイブリッド開催

日本在宅ケア・サミット 2024

ここで暮らしつづけたい

— 災害時の在宅ケアと災害復興 —

特別講演

[14:20 ~ 15:00]

いのちの脅威と社会の安心

～自然災害と人為災害に対応するプライマリヘルスケア (PHC)～

地震津波、火山噴火など自然災害でも、戦争・紛争など人為災害でも、突然暮らしが崩壊し、命も健康も脅かされます。WHO本部緊急人道援助部などで、世界の紛争地での保健支援に携わりましたが、災害の予兆や何をもって復興か、支援ゴールの設定も難しかった記憶があります。

自らの安全が保障されない地域では、医療者はその力を発揮できませんが、社会が安定しているなら、支援後の街には人々、ことに若者があふれます。

翻って、超高齢社会となった日本では、災害がなくとも安心できる地域社会の維持が困難になっている現実があります。健康・生命そして地域社会の安定維持には、地域保健・医療への理解とその推進が必須であると思います。

プライマリヘルスケアの理念に基づき始めた在宅看護センター事業にも言及しながら、地域社会の安定、防災と災害支援、復興への私見を述べたいと思います。

シンポジウム

[15:10 ~ 16:50]

ここで暮らしつづけたい

～能登半島地震で起きたことと東日本大震災からの復興～

突然襲ってくる災害。それでも「ここで暮らしつづけたい」という人がいる限り、在宅ケアはその思いを支えます。

高齢化の進んでいる能登半島を大規模な災害が襲いました。道路や港の被害で救済の手も届きませんでした。そこで必要なのは、急性期医療より在宅ケアのスキルとサービスでした。

能登半島地震で起きたことを話し合い、東日本大震災からの復興報告で明日を考えます。



●プログラム

13:00 ~ 13:15	開会挨拶
	祝辞
13:15 ~ 13:40	JHHCA 正会員・賛助会員団体紹介
13:40 ~ 14:20	JHHCA 事業概要と成果報告
14:20 ~ 15:00	特別講演
15:00 ~ 15:10	休憩
15:10 ~ 16:50	シンポジウム
16:50 ~ 17:00	閉会挨拶

●アーリーバード・ボーナス企画【参加者限定 70名】

10:30 ~ 12:00 モーニングレクチャー
「ポリファーマシーと嚥下障害」

サミット
会場参加者
限定!

参加資格 正会員・賛助会員 40名、非会員 30名【先着制】

申込み方法 会場参加者限定の企画です。
下記 Peatix サイトよりお申し込みください

●お申し込み(事前申込が必要です)／参加費 3,000円(会場・オンライン参加共通)

会場・オンライン参加、いずれもお申し込みは Peatix サイトからとなります。



下記 URL もしくは二次元バーコードからお申し込みください。

申込専用 URL ▶ <https://zaitakucaresummit2024.peatix.com>



お申込方法

- Peatix でのお申込みには Peatix アカウント登録が必要になります。
- 会場参加をご希望の方は「会場参加チケット」を、オンラインで参加ご希望の方は「オンライン視聴チケット」を選択のうえ、お申込みください。
- 会場参加の方でモーニングレクチャーをお申込みの方は「セット券」を選択ください。
- 参加費のお支払いはクレジットカードやコンビニでの事前支払いとなります。
詳細は Peatix サイトにてご確認ください。

会場参加

定員 300 名

オンライン

定員 1,000 名

Peatix のご利用が難しい場合には、日本在宅ケア・サミット運営事務局まで、【お名前、ご所属、お電話番号】をご記載の上、メールにてお問合せください。✉ zaitaku_event@alternative-plan.com



会場参加 申込締切

2024 年 7 月 22 日 (月)

定員になり次第締め切らせていただきます。会場にてご参加いただけない場合は、ぜひオンライン(申込み締切 7/28 (日・当日) 10:00)でご参加ください。

お問い合わせ

日本在宅ケア・サミット運営事務局
TEL: 080-9660-8624 担当: 明石・志藤
✉ zaitaku_event@alternative-plan.com



〈会場〉
東京大学伊藤国際学術研究センター(B2F)
伊藤謝恩ホール
東京都文京区本郷 7 丁目 3-1

- 東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目」駅より徒歩 8 分
- 都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩 6 分
- 東京メトロ千代田線「湯島」または「根津」駅より徒歩 15 分
- 東京メトロ南北線「東大前」駅より徒歩 15 分

